

# 月影保育園拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(第二十三条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 月影福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	保育事業収益	87,359,002	97,423,410	△ 10,064,408
	委託費収益	70,206,210	81,352,320	△ 11,146,110
	基本分単価	46,544,000	56,728,230	△ 10,184,230
	処遇改善等加算	8,214,270	9,967,780	△ 1,753,510
	3歳児配置改善加算	1,101,360	1,331,270	△ 229,910
	3歳児配置改善処遇改善等加算	207,480	217,740	△ 10,260
	主任保育士専任加算	3,656,910	3,661,200	△ 4,290
	療育支援加算	471,540	472,160	△ 620
	事務職員雇上加算	655,110	654,110	1,000
	冷暖房費加算	69,630	73,810	△ 4,180
	小学校接続加算	96,460		96,460
	チーム保育推進加算	4,468,980	4,676,870	△ 207,890
	チーム保育推進処遇改善等加算	841,890	764,940	76,950
	処遇改善等加算II	2,492,280	2,489,210	3,070
	副食費徴収免除加算	400,500	315,000	85,500
	処遇改善等加算III	985,800		985,800
	利用者等利用料収益	1,552,375	1,411,400	140,975
	利用者等利用料収益(一般)	1,552,375	1,411,400	140,975
	私的契約利用料収益	191,267	217,050	△ 25,783
	その他の事業収益	15,409,150	14,442,640	966,510
	補助金事業収益(公費)	14,997,350	14,363,040	634,310
補助金事業収益(一般)	411,800	79,600	332,200	
その他の収益	346,100	346,210	△ 110	
その他の収益	346,100	346,210	△ 110	
サービス活動収益計(1)		87,705,102	97,769,620	△ 10,064,518

月影保育園拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(第二十三条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 月影福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	費用			
	人件費	80,009,490	85,492,863	△ 5,483,373
	職員給料	42,983,441	47,697,887	△ 4,714,446
	職員俸給	27,050,400	29,173,200	△ 2,122,800
	職員諸手当	15,933,041	18,524,687	△ 2,591,646
	職員賞与	7,123,731	8,029,147	△ 905,416
	賞与引当金繰入	4,630,000	4,950,000	△ 320,000
	非常勤職員給与	16,225,777	15,184,282	1,041,495
	退職給付費用	792,900	816,200	△ 23,300
	退職給付引当金繰入	179,400	193,200	△ 13,800
	退職給付費用	613,500	623,000	△ 9,500
	法定福利費	8,253,641	8,815,347	△ 561,706
	事業費	8,025,276	8,036,700	△ 11,424
	給食費	3,069,452	3,321,053	△ 251,601
	保健衛生費	400,653	327,769	72,884
	医療費	1,000	4,500	△ 3,500
	保育材料費	392,877	400,761	△ 7,884
	水道光熱費	1,735,204	1,505,141	230,063
	燃料費	163,550	125,311	38,239
	消耗器具備品費	359,416	366,134	△ 6,718
	保険料	322,150	321,830	320
	賃借料	1,429,906	1,442,481	△ 12,575
	車輛費	151,068	221,720	△ 70,652
	事務費	4,101,965	5,072,338	△ 970,373
	福利厚生費	445,901	430,733	15,168
	旅費交通費	28,340	24,800	3,540
	研修研究費	44,880	37,940	6,940
	事務消耗品費	35,531	30,911	4,620
	印刷製本費	63,250		63,250
	修繕費	1,678,117	2,617,489	△ 939,372
	通信運搬費	139,387	139,502	△ 115
	会議費	56,796	29,632	27,164
	広報費		33,000	△ 33,000
	業務委託費	485,912	522,500	△ 36,588
	手数料	39,269	35,151	4,118
	保険料	405,012	407,890	△ 2,878
	賃借料	46,200	46,200	
	土地・建物賃借料	16,990	16,990	
	租税公課	60,400	58,600	1,800
	保守料	384,780	389,400	△ 4,620
	渉外費		15,000	△ 15,000
	諸会費	160,800	149,100	11,700
	雑費	10,400	87,500	△ 77,100
	減価償却費	3,058,109	3,090,755	△ 32,646
	減価償却費	3,058,109	3,090,755	△ 32,646
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1,411,934	△ 1,411,934		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1,411,934	△ 1,411,934		
サービス活動費用計(2)	93,782,906	100,280,722	△ 6,497,816	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 6,077,804	△ 2,511,102	△ 3,566,702	

月影保育園拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(第二十三条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 月影福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	810	926	△ 116
		受取利息配当金収益	810	926	△ 116
		その他のサービス活動外収益	731,200	754,800	△ 23,600
		利用者等外給食収益	696,200	754,800	△ 58,600
		雑収益	35,000		35,000
	サービス活動外収益計(4)		732,010	755,726	△ 23,716
	費用	その他のサービス活動外費用	972,210	1,058,370	△ 86,160
		利用者等外給食費	696,200	754,800	△ 58,600
		雑損失	276,010	303,570	△ 27,560
		サービス活動外費用計(5)	972,210	1,058,370	△ 86,160
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		△ 240,200	△ 302,644	62,444	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△ 6,318,004	△ 2,813,746	△ 3,504,258	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益		871,000	△ 871,000
		施設整備等補助金収益		871,000	△ 871,000
		特別収益計(8)	0	871,000	△ 871,000
	費用	固定資産売却損・処分損	2	1	1
		器具及び備品売却損・処分損	2	1	1
		特別費用計(9)	2	1	1
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 2	870,999	△ 871,001	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 6,318,006	△ 1,942,747	△ 4,375,259	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		6,203,439	8,146,186	△ 1,942,747
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		△ 114,567	6,203,439	△ 6,318,006
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		5,000,000	0	5,000,000
	人件費積立金取崩額		5,000,000		5,000,000
	その他の積立金積立額(16)		2,000,000	0	2,000,000
	人件費積立金積立額		2,000,000		2,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		2,885,433	6,203,439	△ 3,318,006	

※本様式は、勘定科目の小区分までを記載し、必要のない勘定科目は省略することができるものとする。

※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、小区分については適当な科目を追加できるものとする。なお、小区分を更に区分する必要がある場合には、小区分の下に適当な科目を設けて処理することができるものとする。